

## 令和2年度 第2回 名西高等学校学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和3年3月18日(木) 午後2時から午後3時30分まで

2 場 所 名西高等学校 会議室

### 3 会 議

#### (1) 名西高校の本年度の教育活動について

臼井学校長が、令和2年度の教育活動全般について、校誌「藤波」を用いて説明した。

#### (2) 協議

ア 学校経営計画に関しての学校関係者評価について(全日制)

議事進行は河崎会長が行い、「学校経営計画」の重点目標8項目について各科・課長から説明し、質疑応答を行った。

##### ① 基本的な生活習慣の確立を図る生徒指導の充実について

生徒指導課長から、スマホマナーアップ運動をPTAや生徒会と協力して行っていることや交通事故は軽傷だったが交差点での車との接触事故が多いので、余裕のある登下校を集会等で呼びかけていると説明した。

委員の方からスマホの指導についての質問があり、保護者会でのお願いや、生徒に対する講演等でルールを守っての使い方を指導していると回答した。

##### ② 自他を大切にできる心や態度を育成について

生徒指導課長から、「学校いじめ防止基本方針」と家庭との連携や小さなサインを見逃さないような校内での体制を取っていると説明した。

##### ③ 社会的自立のために必要な能力や態度の育成について

進路指導課長から説明をした。各課と連携を取りながら学年進行で生徒の進路意識を変えていく指導を行っている。1年生の「エシカル消費」については地域の方を講師として講演をいただいている。

委員の方から3年生の最終進路先の満足度が高いのはしっかりした指導の成果であるとのご意見をいただいた。また別の委員の方から、校種が違う生徒間の交流を行って欲しいとの意見をいただいたが、現在の状況では難しいと回答した。

##### ④ 基礎的・基本的な学力の育成について

教務課長から説明をした。本年度は臨時休業中のZoomによる学習や2学期からの電子黒板を使った授業、パフォーマンス課題研究授業を実施するための教員研修を行い、学ぶ意欲を高めるような指導を行っている。委員の方からは、評価指標に対する提言や他校にはない取り組みを広報すべきだとのご意見をいただいた。

⑤ 活力ある部活動と学校をリードする生徒の育成（芸術科）

芸術科長から説明をした。ボランティアは今年はほとんどできなかったが、来年度は新しい形で実施できることを検討する。「書の甲子園」で書道部が全国優勝したことで、美術や音楽にも大きな刺激となっている。野球部の二十一世紀枠推薦も同様である。

⑥ 地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進について

魅力創造課長から説明をした。高校総体代替大会では相撲部や弓道部が優勝した。芸術科の生徒は地域から次々と依頼があり地域に貢献している。エンカル消費は「総合的な探究の時間」に研究を行い、3年間にわたり学びを深めている。委員の方からは、他校にはない取り組みをしっかりと広報して欲しいとのご意見をいただいた。

⑦ 文化芸術活動における地域への積極的な創造発信について

芸術科長から説明をした。2学期からリーディングハイスクール事業の活動が再開し、ホームページでの作品展示、PR動画の作成などを実施した。来年度も新しい形で、生徒の活動の場を確保する予定である。

⑧ 防災・安全教育の徹底と環境教育の推進について

教頭から説明をした。火災や地震の避難訓練を実施した。文化祭では防災クラブがハザードマップを展示するなど啓発活動を行った。

イ 学校経営計画に関しての学校関係者評価について（定時制）

教頭から「令和2年度学校経営計画」の説明と教育活動についての説明を行った。地域と連携した取り組みを多く実施しており来年度も継続していきたいと考えている。

ウ 令和3年度の地域との連携について

エ 各委員からの提言等について

委員の方から、今年は地域連携ができなかったが、芸術科の作品展示は素晴らしいので、地域の方からも期待されている。また、地域交流の場ともなっているため、来年度も継続してほしい。